



営農ウィークリーNEWS

伏見の清酒・新酒蔵出し日本酒まつり 蔵元のイベントに参加 洛南支店発!

3月18日、京都市伏見区にある蔵元周辺で伏見の清酒をきき酒ができる「日本酒まつり」が開催されました。

JA京都中央洛南支店より、管内で栽培した酒造好適米「祝」を原料に提供している蔵元の株式会社山本本家で開催された「神聖・春の蔵開き」イベントに参加されました。

会場では「祝」の新酒や大吟醸スイーツなどが提供され、洛南支店の青壮年部員さん、女性部員さん、JA職員が協力し、地元農産物をふんだんに使用した「京風ミネストローネ」と地元の新鮮な京野菜が販売されました。



また、同地域の農家で「ひかり餅・中村本舗」を経営する中村光宏さんが自ら地元で育てたもち米「新羽二重糯」のもちつきの実演とつきたてのお餅が販売されました。

当日は、春の晴天に恵まれ多くの来場者で賑わいました。



蔵元周辺で同時開催された「日本酒まつり」イベントでは、酒器や地元名産品が並ぶ「伏見ほろ酔市」が開催されたほか、周辺の店舗で、伏見清酒の酒粕を使った粕汁などの販売も行われました。



-TAC information-



花菜「育種」研修会実施!



3月14日(火)長岡京花菜部会は、京都府立大学より講師を招き、「育種」研修会を開催!

「育種」は、最低でも3~5年以上はかかるといわれ、地道な作業が必要です。

参加した部会員は講師の話を中心に聴き、「育種」についての理解を深めました。